

**自立心に富みたくましく生きる神明っ子**

**鯖江市神明小学校**

1 取組の概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ)8日

(2) 地域人材の活用(延べ人数)

講師・ゲストティーチャー	9人
授業ボランティア(含:低ボラ)	9人
登下校支援ボランティア	22人
その他(図書館ボランティア)	12人

(3) 特色ある活動

「心の教育の充実」

【具体的活動内容】

地域・学校協議会では、地域の宝である子どもたちの心身の健全な育成のために、毎年学校保健委員会を利用して、家庭・地域・学校が一体となった取組を行っている。本年度は「心と健康」をテーマにして、次の要領で実施した。

① 期 日 平成23年12月1日

② 参加者 地域・学校協議会委員 学校三師(校医・歯科医・薬剤師) 見守り隊員  
P T A(役員・保健体育部員・子育て委員・希望会員) 校区内学校関係教職員(保育所・幼稚園・保育園・中学校) スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー 神明小学校教職員 (計53名)

③ 内 容

<第1部> 授業参観

参加者全員で、スクールソーシャルワーカーによる6年1組の「ことばと心」の授業を参観した。人を傷つける言葉と人を元気にする言葉があることを知り、言葉が人の心に与える影響について考えた。

<第2部> グループディスカッション

様々な立場の人が入った7~8人のグループに分かれて、地域の方々や家族が子どもたちにかける言葉の在り方を中心に、心の健康についてディスカッションした。



【成果と課題】

- ・ 今回の授業は、色を付けた水を“言葉”にたとえたり視聴覚機器を使ったりして、視覚に訴える分かりやすい授業だったために、参観者自身も言葉の大切さをまざまざと考えさせられる素晴らしいものであった。また、授業中の子どもたちの反応を見てから後にディスカッションをしたので、議論の観点が明確になり、大変スムーズな話し合いとなった。
- ・ 様々な立場の人が参加して多様な意見を聞かれたのでよかった。
- ・ 今後も、地域と家庭、学校のネットワークづくりを一層行うと共に、学校に対して大変協力的な地域性を最大限に生かして、更なる意見の集約を図っていきたい。